

## 編集後記

『独逸文学』65号をお届けします。

1991年以来、30年にわたって関西大学で教鞭をとられた芝田豊彦先生が今年度末をもってご退職になります。文学部ドイツ学専修および本学会に対する芝田先生の多大なご貢献に感謝し、本号を先生の退職記念号とします。ご本人の希望で写真や、また送る言葉も掲載しなかったのも、この場を借りて少し先生のことに触れます。私（工藤）より4つ年上の芝田先生は重大な局面でいつも判断を下す立場にありました。私は年下の気楽さから一歩ひいて眺めていることができました。さほど年の差はないのに、だいぶ楽をさせてもらった気がします。芝田先生はきっちり仕事をする人で、もし役所に勤めていたら実直な能吏として活躍したでしょう。先生のいつも整然とした研究室は、そうした彼の性格を表しています。月曜の昼休み、合同研究室で昼食をとりながら芝田先生と話をするのが楽しみでした。ゲルマニスティクの教育が次第に変質していく中、伝統的なドイツ語ドイツ文学、否、独語独文学の世界に浸ることができたからです。六甲山荘でのゼミ合宿を芝田ゼミと合同で行っていたのも、同じ理由からです。学生を交え、酒を飲みながら芝田先生と語らうのは至福の時間でした。今後は当学会のほか、研究会にも気軽に顔を出していたらと願っています。

折しも文学部では、来る4月よりドイツ学専修とフランス学専修が合併し、ヨーロッパ文化専修となる予定です。まだ予定なので詳述はできませんが、当学会の住所は「ドイツ学専修合同研究室気付」から「ヨーロッパ文化専修合同研究室気付」に変わります。メールアドレスは従来どおりです。

編集委員：工藤康弘（責任者）、柏木貴久子、齊藤公輔

### 当学会誌の編集方針

1. 本学会誌の内容はドイツ語圏の言語・文学・文化およびドイツ語教育に関する論文、マルジナリア、書評、翻訳、エッセイなどとし、原則として会員からの投稿とする。ただし、編集委員が会員以外に特別に原稿を依頼することがある。その他に、シンポジウム報告、修士論文要旨、学生の優秀論文要旨、卒業論文題目一覧、本学会の行事記録、前年度の会計報告を掲載する。
2. 投稿原稿の採否は編集委員会が行う。その場合、査読を編集委員以外に別に委嘱することがある。
3. 執筆要領は別に定める。
4. 投稿希望者は予定題目とその概要を期日までに編集委員会宛にあらかじめ提出しなければならない。詳細は執筆申し込み要領を参照のこと。

## 独 逸 文 学 65

2021年3月20日 発行

関西大学独逸文学会

編集兼  
発行者

吹田市山手町3-3-35  
関大独文研究室内  
電話・大阪(06)6368-0324

郵便振替口座  
口座名称

00910-5-116831  
関西大学独逸文学会

印刷所

株式会社 田中プリント

(非売品)